

ニコチン依存症管理料による禁煙治療 の効果等に関する調査報告書(案) ＜結果概要＞

調査の概要①

1 調査の目的

平成28年度診療報酬改定で実施されたニコチン依存症管理料の見直しを踏まえ、ニコチン依存症管理料を算定している医療機関と当該医療機関で禁煙治療を受けた患者の状況等について調査を行い、診療報酬改定の効果・影響等を検証することを目的とする。

2 調査の対象及び調査方法

(1) 施設調査

「ニコチン依存症管理料」の施設基準の届出を行っている保険医療機関の中から無作為抽出した保険医療機関2,500施設

(2) 患者調査

当該施設において平成28年6月に「ニコチン依存症管理料」の算定を開始した全患者

- (1)の調査対象施設(医療機関)が記入する自記式調査票(様式1・様式2)を郵送配布した。
- 「施設調査(様式1)」については、平成29年6月の施設状況や禁煙治療体制等を尋ねた。
- 「患者調査(様式2)」については、調査対象患者の治療終了から10~11か月目となる平成29年7月~8月に、その時点での禁煙/喫煙状況を対象施設が電話により調査し、調査票に記載する形式とした。
- 対象施設は、記入した様式1・様式2の調査票を同封の上、返送する形式により回収とした。
- 調査実施時期は、平成29年7月12日~平成29年9月27日。

調査の概要②

3 回収の状況

様式1については、発送数2,500施設に対し、有効回答数(施設数)は1,149件、有効回答率は46.0%であった。

様式2に記載された患者票のうち、有効回答となった患者数は1,308人分であった。

図表 1 回収の状況

	発送数	有効回答数	有効回答率
回答施設数(様式1)	2,500	1,149	46.0%
様式2に記載された有効患者数	-	1,308	-

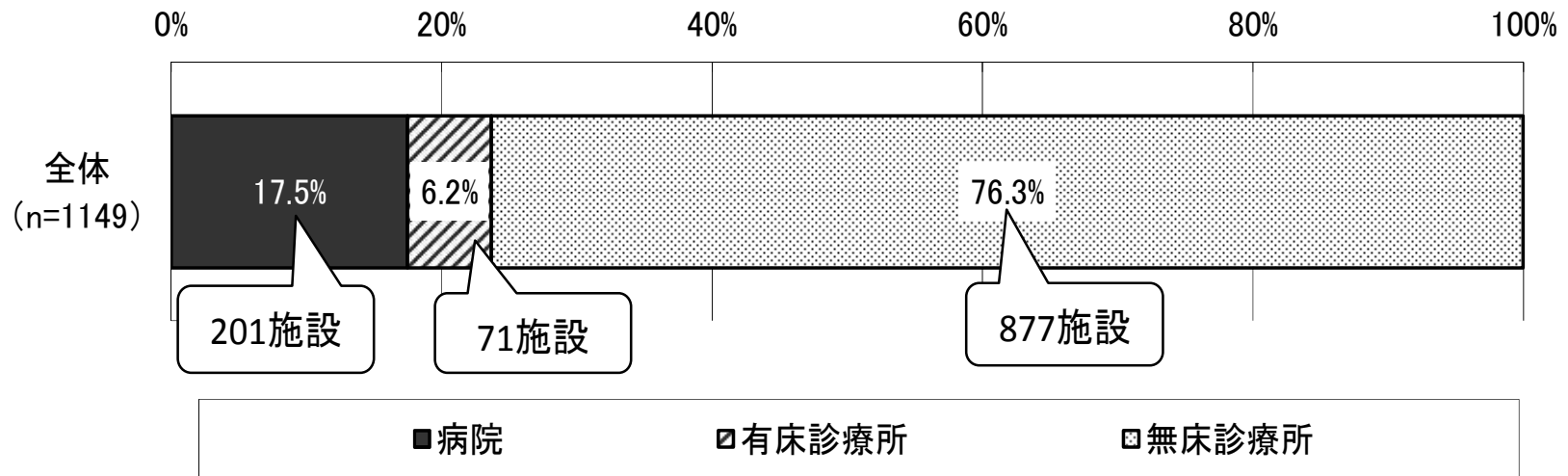
(注)様式2に記載された患者のうち、ニコチン依存症管理料の初回の算定日が平成28年6月以外となっている患者データについては対象外としたため、上記の「有効回答数」には含まれていない。

施設調査の結果①

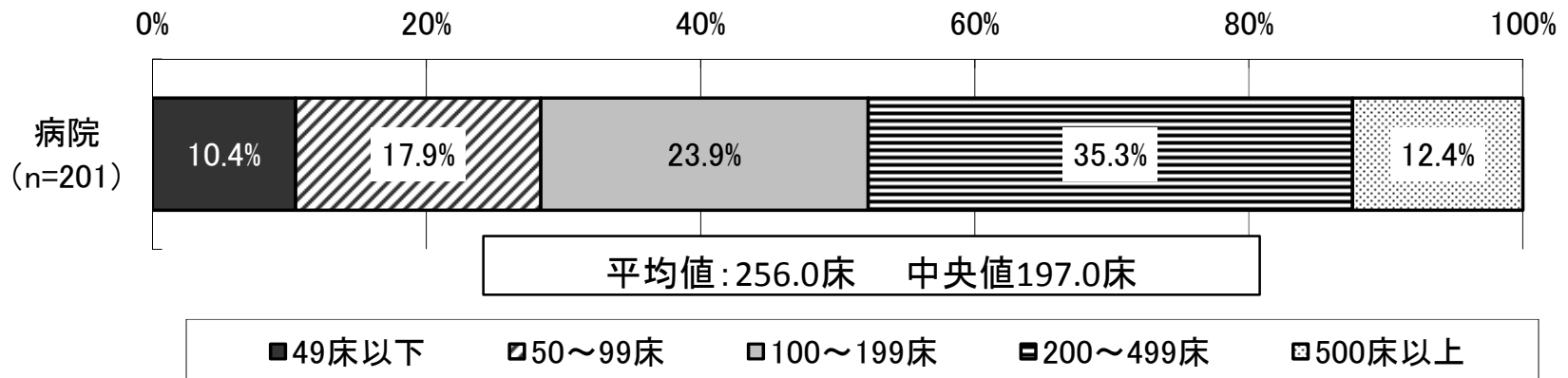
＜施設の概要等(平成29年6月末現在)＞(報告書p5)

回答施設1,149施設の施設種類についてみると、「病院」が17.5%(201施設)、「有床診療所」が6.2%(71施設)、「無床診療所」が76.3%(877施設)であった。

図表 2 施設種類



図表 3 許可病床数(病院)



施設調査の結果②

＜ニコチン依存症管理料を算定した患者数＞（報告書p30）

平成28年4月1日～平成29年3月31日までの1年間にニコチン依存症管理料を算定した患者数についてみると、ニコチン依存症管理料の算定実績があった1,003施設では、1年間の算定患者数は1施設あたり平均12.8人（中央値10.0）であった。

算定した患者数の分布をみると、算定患者がいなかった施設（「0人」）が61施設（全施設の5.3%）であった。

図表 42 1年間のニコチン依存症管理料の算定患者数（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,064	12.8	14.1	10.0
病院	186	15.4	12.6	13.0
診療所	878	12.2	14.3	9.0

（注）平成28年4月1日～平成29年3月までの1年間にニコチン依存症管理料の「初回」を算定した患者数について記入があった1,064施設のうち、「0」と回答した61施設を除外して集計対象とした。

図表 41 1年間のニコチン依存症管理料を算定した患者数別分布（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	0人	1人～5人	6人～10人	11人～20人	21人以上	無回答
全体	1,149	61	274	238	305	186	85
	100.0	5.3	23.8	20.7	26.5	16.2	7.4
病院	201	10	26	38	67	45	15
	100.0	5.0	12.9	18.9	33.3	22.4	7.5
診療所	948	51	248	200	238	141	70
	100.0	5.4	26.2	21.1	25.1	14.9	7.4

（注）平成28年4月1日～平成29年3月までの1年間にニコチン依存症管理料の「初回」を算定した患者数。

施設調査の結果③

＜ニコチン依存症管理料算定患者の年齢別構成＞（報告書p36）

平成27年6月及び平成28年6月の各1か月間にニコチン依存症管理料の算定を開始した患者の年齢構成をみると、34歳以下の患者の割合は14.4%から15.8%へと1.4ポイント増加している。

図表 55 各1か月間にニコチン依存症管理料の算定を開始した患者の合計患者数と年齢別構成割合（全体、n=1,044）

	平成27年6月		平成28年6月	
	合計人数(人)	構成割合(%)	合計人数(人)	構成割合(%)
34歳以下	362	14.4	365	15.8
35～64歳	1,659	66.1	1,469	63.6
65～74歳	375	14.9	376	16.3
75歳以上	115	4.6	101	4.4
合計	2,511	100.0	2,311	100.0

(注)平成27年6月、平成28年6月の各1か月間にニコチン依存症管理料の算定を開始した患者数についてすべて記入があった施設を集計対象とした。

※平成28年度診療報酬改定において、35歳未満の者については、1日の喫煙本数に喫煙年数を乗じて得た数が200を超えない場合でもニコチン依存症管理料を算定可能とした。

施設調査の結果④

＜ニコチン依存症管理料算定患者における5回禁煙治療終了率＞（報告書p32）

平成28年4月1日～平成29年3月31日までの1年間にニコチン依存症管理料を算定した患者がいた施設（n=1,003）における、5回禁煙治療終了率を施設種類別にみると、5回禁煙治療終了率は平均34.5%（中央値31.6）であった。

5回禁煙治療終了率別分布をみると、「20%以上～40%未満」（26.8%）が最も多く、次いで「40%以上～60%未満」（20.3%）であった。また、「0%」という施設が17.7%ある一方で、「80%以上」という施設が8.4%あった。

図表 48 ニコチン依存症管理料を算定した患者における5回禁煙治療終了率

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,003	34.6	27.8	31.6
病院	176	43.5	27.8	42.3
診療所	827	32.7	27.5	28.6

（注）平成28年4月1日～平成29年3月までの1年間にニコチン依存症管理料の「初回」を算定した患者が1人以上いた1,003施設を集計対象とした。

図表 47 ニコチン依存症管理料を算定した患者における5回禁煙治療終了率別分布

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	0%	0%超～ 20%未満	20%以上 ～40%未 満	40%以上 ～60%未 満	60%以上 ～80%未 満	80%以上
全体	1,003	178	162	269	204	106	84
	100.0	17.7	16.2	26.8	20.3	10.6	8.4
病院	176	19	21	36	48	33	19
	100.0	10.8	11.9	20.5	27.3	18.8	10.8
診療所	827	159	141	233	156	73	65
	100.0	19.2	17.0	28.2	18.9	8.8	7.9

（注）・平成28年4月1日～平成29年3月までの1年間にニコチン依存症管理料の「初回」を算定した患者が1人以上いた1,003施設を集計対象とした。
 ・5回禁煙治療終了率＝5回の禁煙治療を終了した患者数／ニコチン依存症管理料を算定した患者数により算出した（以下、同様）。

施設調査の結果⑤

<5回の禁煙治療終了者における禁煙成功率> (報告書p33)

平成28年4月1日～平成29年3月31日までの1年間にニコチン依存症管理料を算定した患者で、5回の禁煙治療を終了した患者のうち、治療終了時点で4週間以上の禁煙に成功した患者の占める割合(5回の禁煙治療終了者における禁煙成功率)は平均89.1(中央値100.0)であった。

5回禁煙治療終了者における禁煙成功率別施設分布をみると、「100%」(68.5%)が7割近くを占めた。

図表 50 5回禁煙治療終了者における禁煙成功率

(単位:%)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	825	89.1	21.4	100.0
病院	157	87.3	17.2	100.0
診療所	668	89.6	22.3	100.0

(注)平成28年4月1日～平成29年3月までの1年間にニコチン依存症管理料の「初回」を算定した患者で5回の禁煙治療終了者が1人以上いた825施設を集計対象とした。

図表 49 5回禁煙治療終了者における禁煙成功率別施設分布

(単位:上段「件」、下段「%」)

	総数	0%以上～10%未満	10%以上～20%未満	20%以上～30%未満	30%以上～40%未満	40%以上～50%未満	50%以上～60%未満	60%以上～70%未満	70%以上～80%未満	80%以上～90%未満	90%以上～100%未満	100%
全体	825	21	0	4	8	5	37	49	35	70	31	565
	100.0	2.5	0.0	0.5	1.0	0.6	4.5	5.9	4.2	8.5	3.8	68.5
病院	157	1	0	0	1	2	6	17	12	27	11	80
	100.0	0.6	0.0	0.0	0.6	1.3	3.8	10.8	7.6	17.2	7.0	51.0
診療所	668	20	0	4	7	3	31	32	23	43	20	485
	100.0	3.0	0.0	0.6	1.0	0.4	4.6	4.8	3.4	6.4	3.0	72.6

(注)・平成28年4月1日～平成29年3月までの1年間にニコチン依存症管理料の「初回」を算定した患者で5回の禁煙治療終了者が1人以上いた825施設を集計対象とした。

・禁煙成功率＝禁煙に成功した患者数／5回の禁煙治療終了者数により算出した(以下、同様)。

施設調査の結果⑥

＜1年間におけるニコチン依存症管理料の平均継続回数＞（報告書p35）

平成28年4月1日～平成29年3月31日までの1年間のニコチン依存症管理料の平均継続回数の平均は3.3回（中央値3.3）であった。

平均継続回数別の分布をみると、「3回以上～4回未満」（44.5%）が最も多く、また、平均継続回数が「2回未満」という施設は5.7%であった。

図表 54 ニコチン依存症管理料の平均継続回数

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,003	3.3	0.9	3.3
病院	176	3.6	0.8	3.6
診療所	827	3.2	0.9	3.3

（注）平成28年4月1日～平成29年3月までの1年間にニコチン依存症管理料の「初回」を算定した患者が1人以上いた1,003施設を集計対象とした。

図表 53 ニコチン依存症管理料の平均継続回数別施設分布

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	2回未満	2回以上～ 3回未満	3回以上～ 4回未満	4回以上
全体	1003	57	259	446	241
	100.0	5.7	25.8	44.5	24.0
病院	176	3	31	85	57
	100.0	1.7	17.6	48.3	32.4
診療所	827	54	228	361	184
	100.0	6.5	27.6	43.7	22.2

（注）・平成28年4月1日～平成29年3月までの1年間にニコチン依存症管理料の「初回」を算定した患者が1人以上いた1,003施設を集計対象とした。

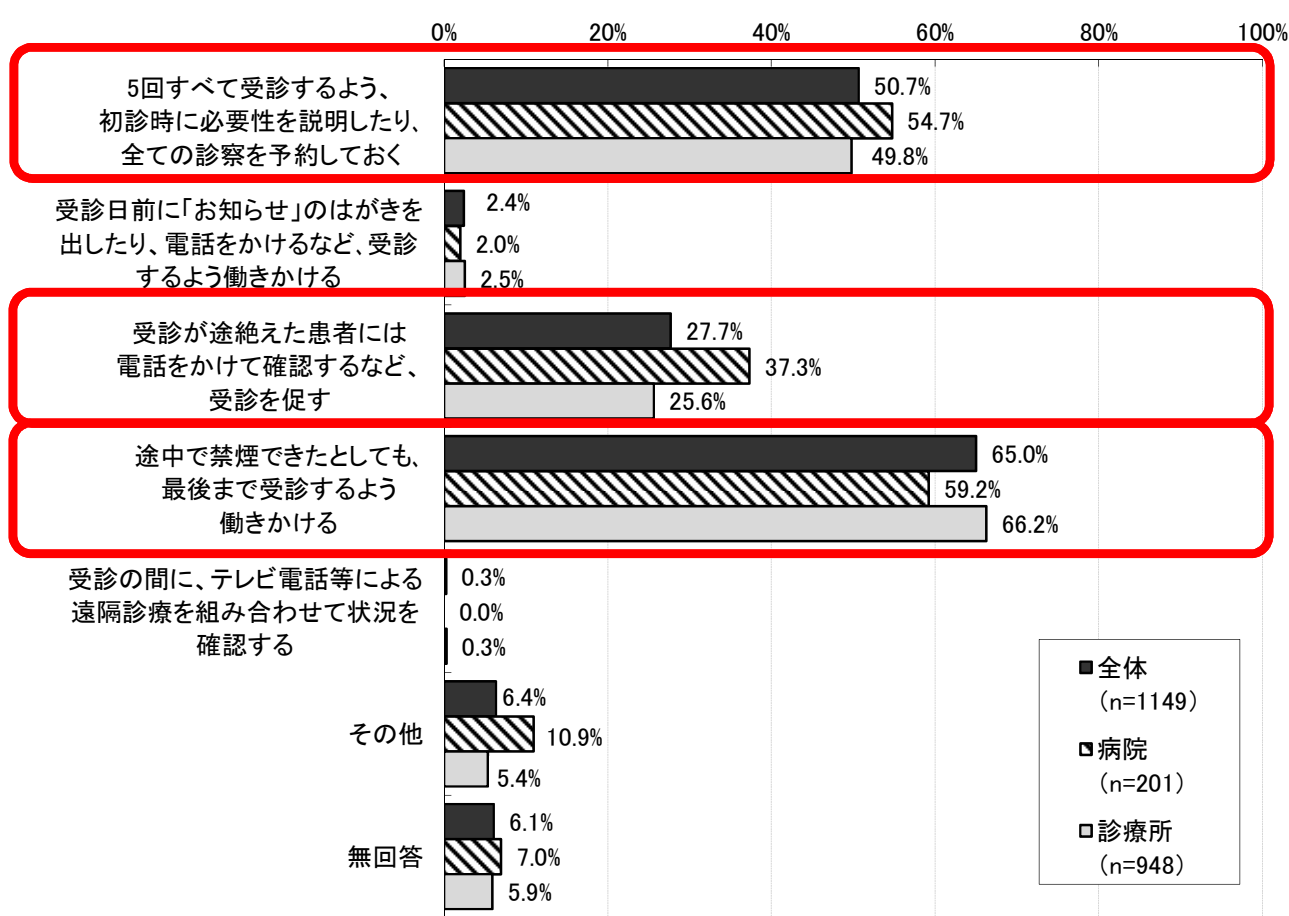
・ニコチン依存症管理料の1年間の延べ算定回数／ニコチン依存症管理料の「初回」の算定回数により算出した（以下、同様）。

※平成28年度報酬改定において、過去1年間のニコチン依存症管理の平均継続回数が2回未満である場合には、所定点数の100分の70に相当する点数を算定することとした。

施設調査の結果⑦

＜5回の禁煙治療について途中の脱落を防ぐために行っている工夫＞（報告書p22）

5回の禁煙治療について途中の脱落を防ぐために行っている工夫をみると、「途中で禁煙できたとしても、最後まで受診するよう働きかける」(65.0%)が最も多く、次いで「5回すべて受診するよう、初診時に必要性を説明したり、全ての診察を予約しておく」(50.7%)、「受診が途絶えた患者には電話をかけて確認するなど、受診を促す」(27.7%)という順であった。



(注)「その他」の内容として、「次回の予約を確定する」、「初診時に受診予定日を書いた紙を渡す」、「禁煙外来専用の診察券を作成し、次回受診時期を書き入れて渡す」、「5回受診することに同意する旨の署名をもらう」、「医師の十分な問診と電話での相談」、「外来の都度、資料を十分に提供し、自宅での禁煙維持に働きかける」、「禁煙外来以外の受診時にも声かけを行う」、「禁煙できなかったとしても、禁煙受診を継続するようアドバイスをして励ます」、「禁煙日記等を使い啓発」、「指導前に検査を行い、たばこによって汚れた肺の画像を見せる」、「肺年齢、動脈硬化検査を追加して実施し、モチベーションを維持させている」、「途中で吸ってしまっても叱らず、吸わない方法を話し合う」、「副作用で薬をやめて喫煙が始まらないよう、副作用が出た時は再診してもらうよう指導」、「保険適用のための条件、約束事について丁寧に説明する」、「前回より頑張ったこと、変化があったことを一緒に喜び、次回受診へつなげる」等が挙げられた。

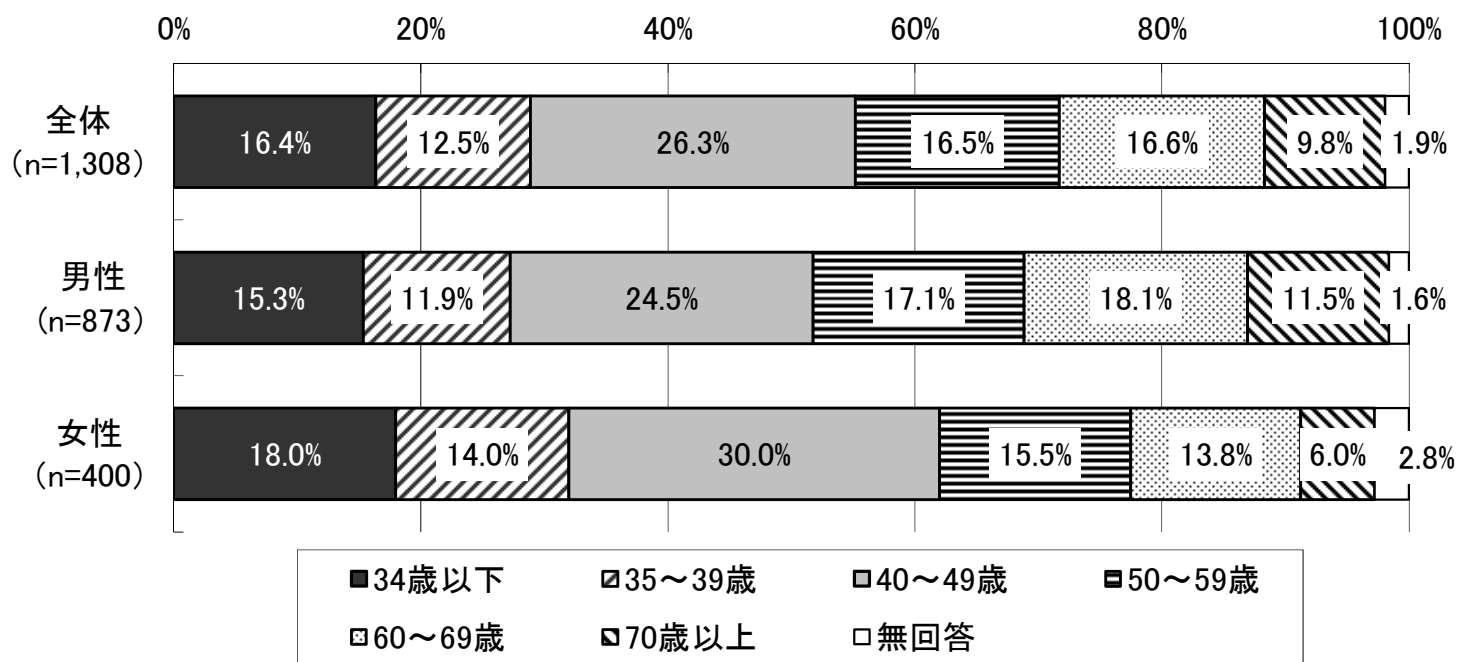
図表 30 5回の禁煙治療について途中の脱落を防ぐために行っている工夫(複数回答)

患者調査の結果①

＜患者の基本属性＞（報告書p44）

男性では「40～49歳」(214人)が最も多く、次いで「60～69歳」(158人)、「50～59歳」(158人)、「34歳以下」(134人)、「35～39歳」(104人)、「70歳以上」(100人)であった。女性では「40～49歳」(120人)が最も多く、次いで「34歳以下」(72人)、「50～59歳」(62人)、「30～39歳」(56人)、「60～69歳」(55人)、「70歳以上」(24人)であった。

図表 68 年齢構成(男女別)



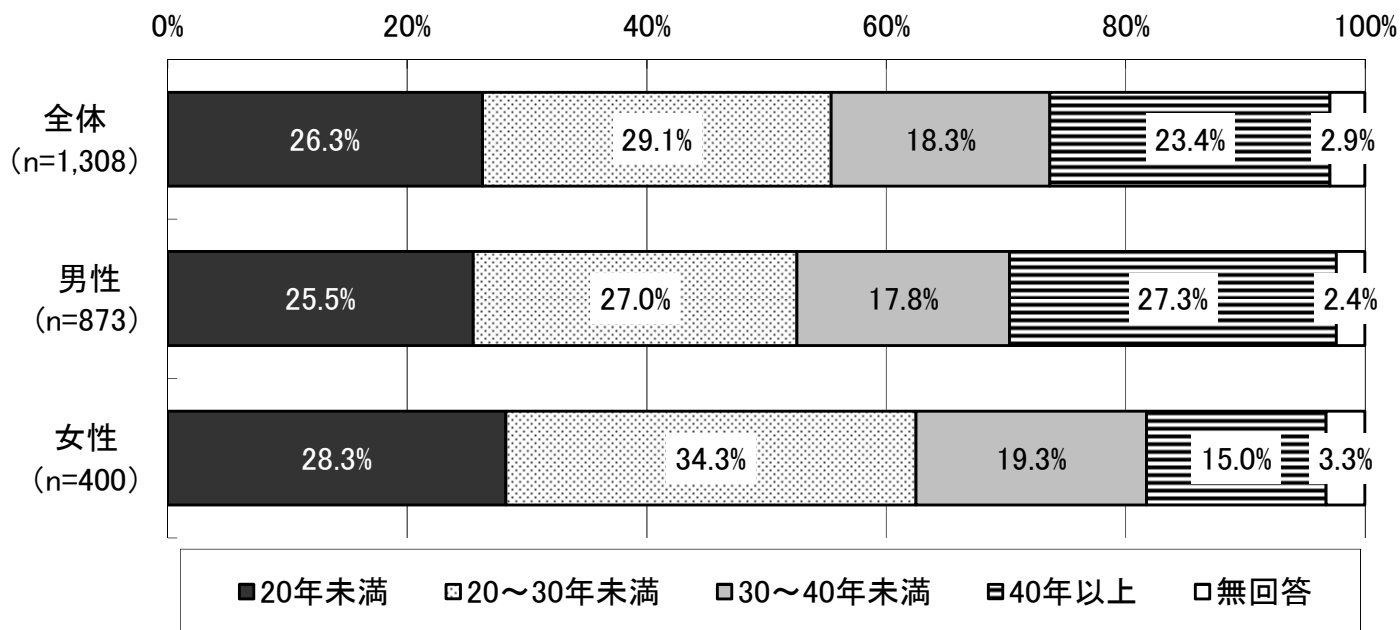
(注)「全体」には、性別について回答のなかった35人が含まれる。

患者調査の結果②

＜ニコチン依存症管理料算定開始時点における喫煙年数＞（報告書p45）

ニコチン依存症管理料算定開始時点における喫煙年数についてみると、「20～30年未満」が29.1%で最も多く、次いで「20年未満」(26.3%)、「40年以上」(23.4%)、「30～40年未満」(18.3%)であった。喫煙年数は平均27.5年(中央値25.0)であった。

図表 70 ニコチン依存症管理料の算定開始時点における喫煙年数別割合(男女別)



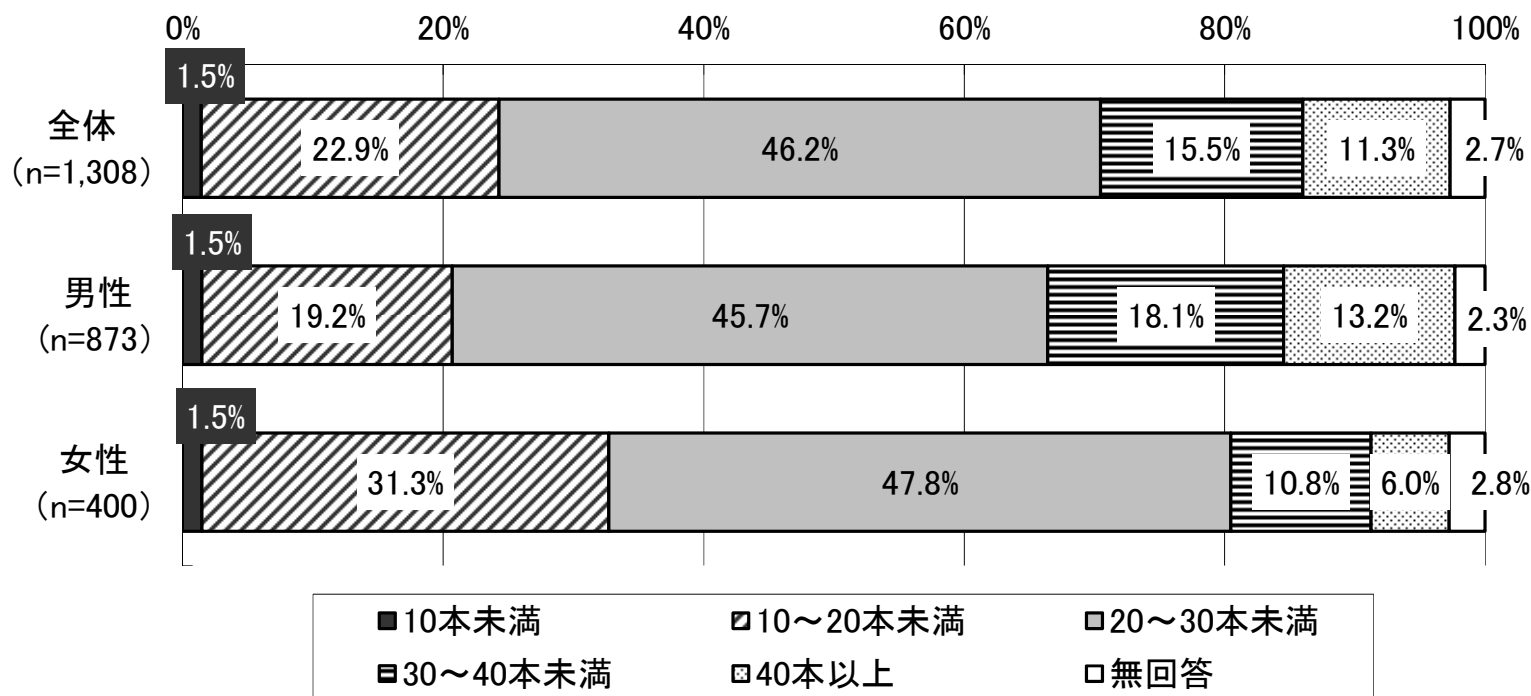
(注)「全体」には、性別について回答のなかった35人が含まれる。

患者調査の結果③

＜ニコチン依存症管理料算定開始時点における1日あたりの喫煙本数＞（報告書p46）

ニコチン依存症管理料算定開始時点における1日あたりの喫煙本数についてみると、「20～30本未満」が46.2%で最も多く、次いで「10～20本未満」(22.9%)、「30～40本未満」(15.5%)、「40本以上」(11.3%)であった。1日あたりの喫煙本数は平均22.8本(中央値20.0)であった。

図表 72 ニコチン依存症管理料の算定開始時点における1日あたりの喫煙本数(男女別)



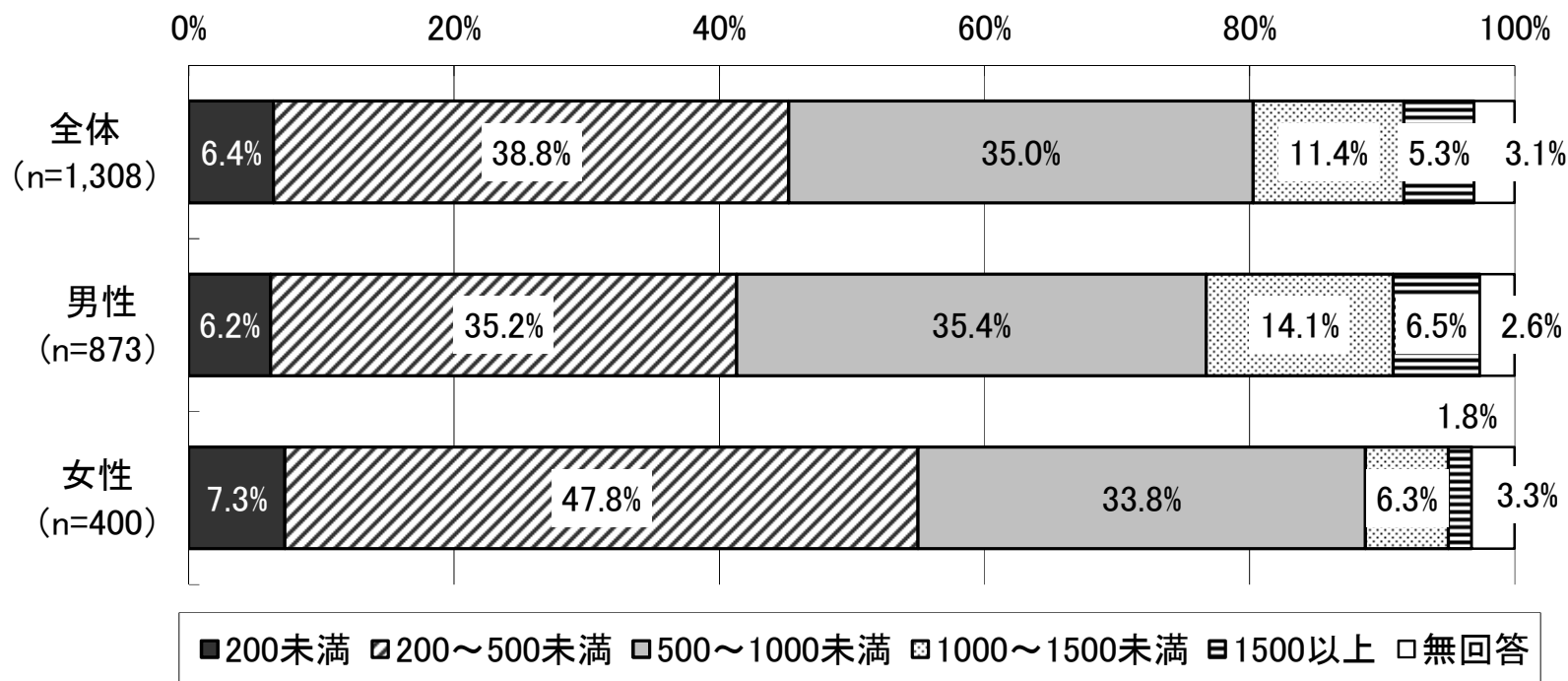
(注)「全体」には、性別について回答のなかった35人が含まれる。

患者調査の結果④

＜ニコチン依存症管理料算定開始時点におけるブリンクマン指数＞（報告書p48）

ニコチン依存症管理料算定開始時点におけるブリンクマン指数についてみると、「200～500未満」が38.8%で最も多く、次いで「500～1000未満」(35.0%)、「1000～1500未満」(11.4%)、「200未満」(6.4%)、「1500以上」(5.3%)であった。

図表 76 ニコチン依存症管理料の算定開始時点におけるブリンクマン指数別割合（男女別）



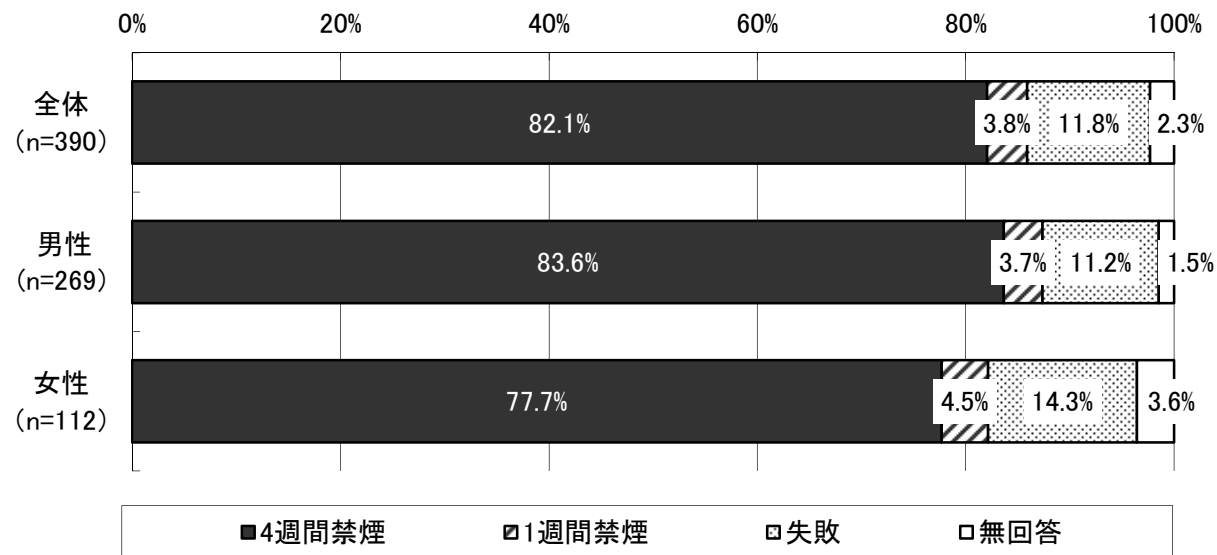
(注)「全体」には、性別について回答のなかった35人が含まれる。

患者調査の結果⑤

＜5回の治療を終了した患者の治療終了時の禁煙状況＞（報告書p62）

ニコチン依存症の禁煙治療を5回全て終了した患者（n=390）における、5回目治療終了時の禁煙状況についてみると、「4週間禁煙」が82.1%、「1週間禁煙」が3.8%、「失敗」が11.8%であった。

図表 98 5回の治療を終了した患者の禁煙状況(男女別)



(注)「全体」には、性別について回答のなかった9人が含まれる。

【禁煙の定義(治療終了時)】

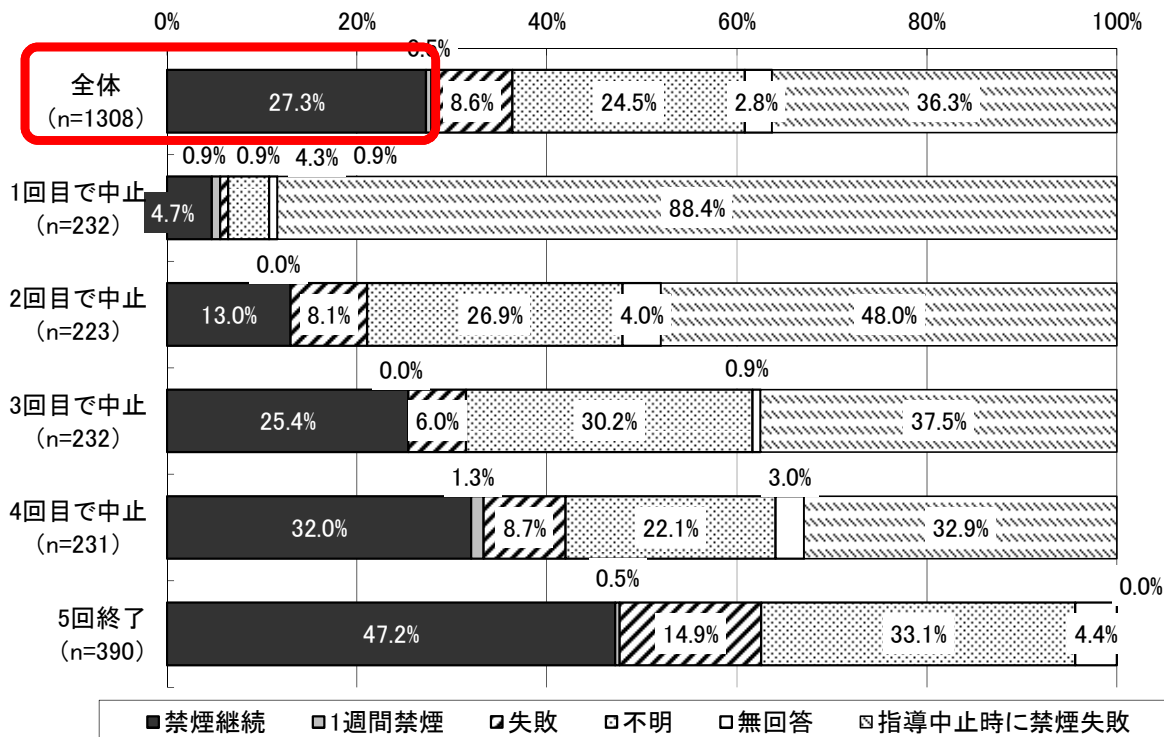
4週間禁煙	<ul style="list-style-type: none"> ・5回目治療終了時点で禁煙しており、5回終了時からさかのぼって少なくとも4週間、1本も吸わずに禁煙を継続している人 ・かつ、4回目と5回目の治療時の呼気一酸化炭素濃度の値が非喫煙者レベル(8ppm未満)であった人
1週間禁煙	<ul style="list-style-type: none"> ・5回の治療が終了している時点で禁煙しており、5回終了時点からさかのぼって少なくとも1週間、1本も吸わずに禁煙を継続している人 ・かつ、5回目治療時の呼気一酸化炭素濃度の値が非喫煙者レベル(8ppm未満)であった人
失敗	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙状況が把握できたが、上記の「4週間禁煙」「1週間禁煙」のいずれにもあてはまらなかった人

患者調査の結果⑥

＜算定回数別の治療終了9か月後の禁煙状況＞（報告書p81）

全対象患者について治療終了9か月後の禁煙状況を算定回数別にみると、「禁煙継続」の割合は27.3%であった。算定回数（治療回数）が多いほど、「禁煙継続」の割合が高くなる傾向がみられた。

図表 130 治療終了9か月後の禁煙状況（全対象患者、算定回数別）



(参考) 平成21年度調査

